

アーツカウンシル東京

平成27年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第Ⅱ期 平成27年度 芸術文化による社会支援助成 対象事業決定のお知らせ

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援するため、東京の芸術文化の創造と発信、芸術創造環境の向上に資する活動を行う団体等に対する助成・支援を実施しています。

このたび、平成27年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第Ⅱ期、及び平成27年度 芸術文化による社会支援助成の対象事業を決定いたしました。

今期は単年助成113件、社会支援助成12件の申請があり、アーツカウンシル東京での厳正な審査の結果、**単年助成 43件、社会支援助成 10件**を採択いたしました(単年助成採択率 38.1%、社会支援助成採択率 83.3%)。なお、**単年助成予定総額 4,565万円、社会支援助成予定総額 657万円**です。

■ 今期の助成 申請・採択件数

平成27年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第Ⅱ期

| 区分 分野 | 公演・展示等 | | 国際芸術交流 | | 創造環境向上 | | 申請件数 | 採択件数 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|------------|-----------|
| | 申請 | 採択 | 申請 | 採択 | 申請 | 採択 | | |
| 音楽 | 8 | 4 | 3 | 1 | 2 | 0 | 13 | 5 |
| 演劇 | 25 | 5 | 7 | 3 | 1 | 1 | 33 | 9 |
| 舞踊 | 9 | 3 | 8 | 2 | 1 | 1 | 18 | 6 |
| 美術・映像 | 11 | 2 | 8 | 6 | 2 | 1 | 21 | 9 |
| 伝統芸能 | 10 | 6 | 5 | 3 | 1 | 1 | 16 | 10 |
| 複合・他 | 4 | 0 | 5 | 2 | 3 | 2 | 12 | 4 |
| 合計 | 67 | 20 | 36 | 17 | 10 | 6 | 113 | 43 |

平成27年度 芸術文化による社会支援助成

| 区分 分野 | 申請件数 | 採択件数 |
|-----------|-----------|-----------|
| 複合・他 | 5 | 4 |
| 音楽 | 0 | 0 |
| 演劇 | 5 | 4 |
| 舞踊 | 0 | 0 |
| 美術・映像 | 2 | 2 |
| 伝統芸能 | 0 | 0 |
| 合計 | 12 | 10 |

- ・単年助成対象期間:平成27年10月1日以降に開始し、平成28年9月30日までに終了する活動
- ・社会支援助成対象期間:平成27年4月1日以降に開始し、平成28年3月31日までに終了する活動

◆東京芸術文化創造発信助成

東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成します。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を受け、今後具体化に向け検討が始まる様々な文化プログラムも視野に入れ、積極的な支援を行います。

【単年助成プログラム】では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートします。

◆芸術文化による社会支援助成

障害者をはじめ、高齢者や子供、外国人といった、様々な人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動に対して、経費の一部を助成します。

今年度は、特に障害者の多様な芸術文化鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動、その実現を支える環境整備に資する活動、並びに障害者等の芸術文化活動の社会理解の促進に資する活動をサポートします。

■ 平成 27 年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第 II 期 採択事業 一覧

申請 113 件、採択 43 件

| 活動分野 | 活動内容 | 実施場所 | 団体／個人 | 申請者名 | 申請活動名 | | |
|------------------|--------|--------|-------|-------------------------|---|--|------------------------|
| 音楽 | 公演・展示等 | 都内 | 団体 | ensemble-no | コンサート「Italy meets Noh! イタリア作曲家特集」 | | |
| | | | | 一般財団法人 合唱音楽振興会 | 東京混声合唱団 第239回定期演奏会 | | |
| | | | | Point de Vue | Point de Vue vol.10 | | |
| | | | | 一般社団法人 もんてん | 第2回 両国アートフェスティバル2016 | | |
| | 国際芸術交流 | 海外 | | 栗コーダーカルテット | 栗コーダー&フレンズ アジア6カ国 ミュージック&アート 共同制作プロジェクト | | |
| 演劇 | 公演・展示等 | 都内 | 団体 | □字ツク | □字ツク第十一回本公演「荒川、神キラーチューン(再演)」 | | |
| | | | | FUKAIPRODUCE羽衣 | FUKAIPRODUCE羽衣第20回公演「(新作タイトル未定)」 | | |
| | | | | 有限会社 スコット | SCOT吉祥寺シアター公演2015と演劇人のための鈴木教室 | | |
| | | | | 一般社団法人なかふら | 中野成樹+フランケンズ2015秋『ロボットの未来改(または、つながらない星と星)』 | | |
| | | | | 特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン | たちかわ創造舎 オープニング公演「想稿・銀河鉄道の夜」 | | |
| | | | | to R mansion | 日仏国際共同創作公演「The Wonderful Parade」東京初演 | | |
| | 国際芸術交流 | 海外 | | | 岡崎藝術座 | +51 アビアシオン、サンボルハ ブリュッセル公演 | |
| | | | | | チェルフィッチュ | チェルフィッチュ新作『protection』欧州・中東3都市ツアー | |
| | 創造環境向上 | 都内 | | 公益社団法人 国際演劇協会日本センター | 高校生劇評応援プロジェクト | | |
| | 舞踊 | 公演・展示等 | 都内 | 団体 | Baobab | Baobabディレクション公演 | |
| BONUS | | | | | BONUS 第2回連結クリエイション 「牧神の午後」編 | | |
| クリエイティブ・アート実行委員会 | | | | | インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo 第3回公演 “BORDER” | | |
| 国際芸術交流 | | 海外 | | | | 一般社団法人Co.山田うん | 東京 - イスラエル ダンス交流プロジェクト |
| | | | | | | 川口隆夫 | Touch of the other |
| 創造環境向上 | | 都内 | | | Ko&Edge Co. | 室伏鴻アーカイブ制作とMurobushi Research international conference | |

| 活動分野 | 活動内容 | 実施場所 | 団体／個人 | 申請者名 | 申請活動名 |
|--------|--------|--------------|--------------------|------------------------------|--|
| 美術・映像 | 公演・展示等 | 都内 | 団体 | 羽永光利アーカイブ展企画委員会 | 羽永光利アーカイブ展(仮) |
| | | | 個人 | 山城大督 | 山城大督 新作映像インスタレーション《TALKING LIGHTS / トーキング・ライツ》 |
| | | | 団体 | 株式会社VACANT | VACANT VERNACULAR(仮) |
| | 国際芸術交流 | 海外 | 個人 | 小山 泰介 | 小山泰介個展「Generated Images」(仮) |
| | | | | 大和田俊 | インドのサウンドアートフェスティバル「Sound Reasons」でのインスタレーション展示 |
| | | | 団体 | アートヴェイントーキョー | アートヴェイントーキョー VIDEOFORMES 2016 上映展示+ワークショップ |
| | | | | 公益財団法人 日本チャリティ協会 | パラアート国際交流活動事業 |
| | | | | 特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト | ウォールアートフェスティバル ウィズ ノコ 2016 |
| 創造環境向上 | 都内 | 一般社団法人 アート東京 | アジアン・アート・フォーラム2016 | | |
| 伝統芸能 | 公演・展示等 | 都内 | 団体 | 公益社団法人 日本三曲協会 | 日本三曲協会 定期公演 第2回「日本の響」 |
| | | | | 創邦21 | 創邦21 第13回作品演奏会 |
| | | | | お囃子プロジェクト | 新感覚お囃子エンターテインメント! お囃子プロジェクト |
| | | 個人 | 高市 雅風 | 高市雅風 箏リサイタル区 船に乗って | |
| | | | 西田 英智 | 『特別名勝 六義園で楽しむ、江戸の“灯り”と“太神楽”』 | |
| | | | 辻 雄貴 | 華道家 辻 雄貴 個展 | |
| | 国際芸術交流 | 海外 | 個人 | 山本 亜美 | 山本亜美 二十五絃箏 NY文化交流 2016 |
| | | | | 団体 | 一般財団法人 観世文庫 |
| | | | 国際能プロジェクト実行委員会 | | 能フェスティバル「序破急」- 能とイギリス現代アーティストのコラボレーション(仮) |
| | | | 創造環境向上 | 都内 | ここん |
| 複合・その他 | 国際芸術交流 | 都内及び海外 | 団体 | NPO法人 日本伝統文化推進協会 | 伝統文化を東京からアジアへ広げようプロジェクト |
| | | | | 株式会社ニューディアー | GEORAMA2016 |
| | 創造環境向上 | 都内 | | 有限会社 ネビュラエクストラサポート | Next舞台制作塾EX「国際共同制作ゼミ(仮)」の実施並びに公開アーカイブの作成 |
| | | | | Art Translators Collective | 翻訳・通訳を通じた芸術創造環境の向上事業 |

■ 平成 27 年度 芸術文化による社会支援助成 採択事業 一覧
申請 12 件、採択 10 件

| 活動分野 | 活動内容 | 実施場所 | 申請団体名 | 申請活動名 |
|-------|---|--------|-----------------------------|---|
| 複合 | ①鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動 | 都内 | シアタープランニングネットワーク | ホスピタルシアタープロジェクト2015-障害児施設巡演&オープンデイの開催 |
| | ③社会理解の促進に資する活動 | | 特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン | 「障害者アートとソーシャルデザイン」フォーラム |
| | | | マイノリマジョリテ・トラベル・クロニクル実行委員会 | マイノリマジョリテ・トラベル「東京境界線紀行」の活動アーカイブと短編映画上映 |
| | ①鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動 ②芸術文化をつなぐ環境の整備に資する活動 ③社会理解の促進に資する活動 | | 新宿アートプロジェクト | 外国人の子ども・若者と芸術文化活動をつなぐための調査及び人材育成事業 |
| 演劇 | ①鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動 | 都内 | 東京シューレ | 不登校、ひきこもり、障害等、社会的ハンディを負う若者の自己否定の表現活動による軽減 |
| | | 海外 | 社会福祉法人 トット基金 日本ろう者劇団 | 日本ろう者劇団 欧州公演2015 |
| | ②芸術文化をつなぐ環境の整備に資する活動 | 都内 | NPO 法人シニア演劇ネットワーク | 視覚障害者向け音声ガイド制作者育成講座 |
| | ②芸術文化をつなぐ環境の整備に資する活動 ③社会理解の促進に資する活動 | 都内及び海外 | シアター・アクセシビリティ・ネットワーク | 英国の舞台・アート分野におけるアクセス事情の現地調査および報告 |
| 美術・映像 | ①鑑賞・体験機会の拡充及び表現活動 | 都内 | knock-knock | knock-knock |
| | ②芸術文化をつなぐ環境の整備に資する活動 | | 特定非営利活動法人メディア・アクセス・サポートセンター | (仮)MASC認定 字幕・音声ガイドモニター養成ワークショップ |

■ 採択結果の概況

◆平成 27 年度 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第 II 期

前期より、単年助成の対象となる活動内容：東京の芸術環境の向上に資する活動・プロジェクトについては、補助率を助成対象経費の 2 分の 1 以内から 3 分の 2 以内に改定しました。また、単年助成では、美術・映像分野と伝統芸能分野において個人による申請の受付を開始しました。今期は、改定後 2 期目の申請受付でしたが、申請件数が単年助成 113 件(前年比 13%増)と増加しました。

東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第 II 期 採択事業の傾向

当助成プログラムは、基本方針である「各ステージにおける助成方針」に則り、若手(①活動基盤形成期)及び中堅(②活動拡大・発展期)にある芸術団体等への助成を優先しています。音楽、演劇、舞踊、美術・映像等の分野の活動内容：公演・展示等について、3 つのステージ(①活動基盤形成期、②活動拡大・発展期、③活動熟成・トップ期)

に振り分けた際の採択状況は以下のようになります。(※その他は、3つのステージに振り分けられないもの、フェスティバルや地域のアートプロジェクト、若手からベテランまでの複合的な申請案件です。)伝統芸能分野は充実した内容の申請が多く採択率が高くなっています。

| | ①活動基盤形成期 | ②活動拡大・発展期 | ③活動成熟・トップ期 | その他 |
|--------|----------|-----------|------------|------|
| 申請件数 | 19 | 18 | 19 | 27 |
| 採択件数 | 7 | 7 | 4 | 6 |
| 採択率(%) | 36.8 | 38.9 | 21.1 | 22.2 |

| 伝統芸能 | 創造環境整備・支援 |
|------|-----------|
| 14 | 16 |
| 9 | 10 |
| 64.3 | 62.5 |

■ 各分野の申請状況について

● 音楽分野

音楽分野の申請では、初めて申請する団体が約半数を占めました。全体の8割以上の申請が西洋クラシック音楽と現代音楽の分野からのものですが、演奏家の育成プログラムや地域での教育普及活動、海外での芸術交流活動など、ホールや劇場で行うコンサート以外の活動の割合が大きく増加しています。活動実績の豊富な団体の活動や長期の継続的事業が多く、「各ステージにおける助成方針」に照らして検討しました。

● 演劇分野

演劇分野の申請33件の内訳は、例年と同じく劇団やユニットからの申請が多数を占め、その他に民間劇場1件、中間団体2件、企画制作会社等によるプロデュース公演2件で、内9件が初申請でした。審査においては、活動基盤形成期(若手)の団体には当助成の審査基準である将来性・適時性を重視し、ステージを一段上げる節目となるような公演に対して、活動拡大・発展期(中堅)の団体には当助成の審査基準である革新性・独創性及び影響力・普及力を重視する結果となっています。活動成熟・トップ期(ベテラン)の団体からも多数の申請がありましたが、今期は人材育成の要素のあるものが採択となっており、今後も、後進の育成に資する活動の申請を期待しています。

● 舞踊分野

舞踊分野では、テクノロジーを取り入れたパフォーマンス企画や、若手の創造環境の活性を目指す企画、急逝した舞踏家の業績の検証及びアーカイブ化する活動等、多様な活動の申請がありました。申請件数は微増傾向にある一方、活動基盤形成期(若手)の団体からの申請件数は停滞気味で、活動拡大・発展期(中堅)の団体からの申請が過半数を占めました。その他、障害のあるパフォーマーを含むダンス公演など特色ある活動の申請もあり、当助成の審査基準である将来性・適時性及び「各ステージにおける助成方針」に則り、意欲的な試みを総合的に評価しました。

● 美術・映像分野

美術・映像分野では、当助成プログラムに初めて申請する団体・個人が8割を超え、作品展示にとどまらず美術資料のアーカイブや地域に根ざした活動、ワークショップやシンポジウムを含む、新しい試みを持った多彩な申請がありました。前期から受付を開始した個人申請でも意欲的な申請が増え、全体的に海外における展示やフェスティバル参加といった国際芸術交流活動で実現性の高い優れた申請が目立ちました。申請活動の具体性と同時に、当助成の審査基準に則り、その影響力・普及力や申請団体・個人の将来性・適時性も考慮して審査を行いました。

● 伝統芸能分野

伝統芸能分野では、充実した内容の申請が増えたため高い採択率となりました。審査に当たっては当助成の審査基準である継承性(伝統芸能の場合)に照らして判断しました。今回の特徴としては、新しい受け手を開拓しようとする活動や、伝統芸能の特徴と価値を踏まえた若手・中堅の創造的な活動がいくつも見られました。また採択10件中4件が個人申請で、今後の申請数の増加が期待されます。

●複合・その他分野

複合・その他分野では、舞台芸術や美術だけではなく、科学・ファッション・クラフト・建築・アニメーションなどの要素を多岐にわたって取り入れたジャンル横断的な公演・展示・アートプロジェクトの申請が見られました。また、国際共同制作や翻訳などを媒介とした創造環境の充実を企図するプログラムなども見られました。審査については、申請内容から音楽、演劇、舞踊、美術・演劇、伝統芸能の各分野に振り分けをし、助成方針などを基に審査を行いました。

◆平成 27 年度 芸術文化による社会支援助成

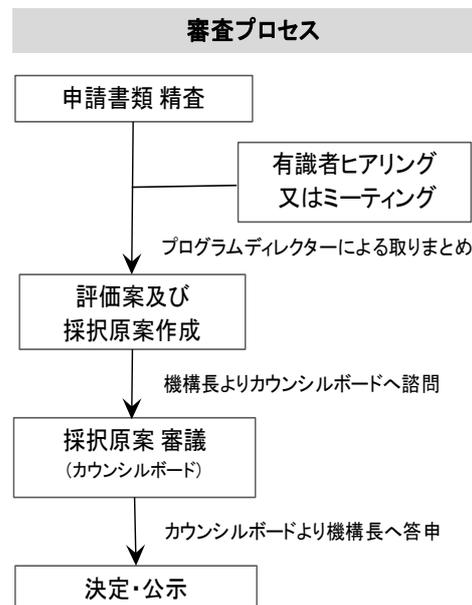
今年度より新設した当助成プログラムには、障害者に関わる様々な活動に加え、芸術文化を通じた在留外国人の子供たち・若者との多文化共生への取り組みやそのニーズ調査、演劇創作によって不登校等の若者を支援する取り組み、児童養護施設の子供たちに向けた美術鑑賞ワークショップといった多様な活動も採択となりました。

活動分野においては複合、演劇、美術・映像分野としつつも、ジャンルを超えて社会課題に取り組む企画が多いことが特徴的でした。また、活動内容においては、フォーラムの開催、障害者等の芸術文化へのアクセス支援に取り組む人材育成や調査といった、障害者等と社会や芸術文化をつなぐ取り組みや社会理解の促進に資する活動からの申請が多くありました。また、今回は申請が比較的少なかった、障害者等自身による表現活動の支援の必要性も浮かび上がってきました。なお、採択については申請内容により、複合、音楽、演劇、舞踊、美術・映像、伝統芸能の主たる活動分野に振り分け、当助成の審査基準である、活動の実現性ならびに目的意識、アクセシビリティ、革新性、創造性、継続性に照らして、審査を行いました。今後、当助成プログラムの認知度の向上に努め、より多くの団体からの申請を期待します。

■ 審査プロセスと採択方法

以下の審査プロセスで、採択を決定しています。

提出された申請書及び添付資料をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえてプログラムディレクターが評価案及び採択原案を取りまとめます。採択原案をアーツカウンシル東京機構長がカウンシルボードに諮問し、カウンシルボードでの審議及び答申を経て決定します。



【事業に関するお問い合わせ】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画室 企画助成課 佐藤
TEL : 03-6256-8431 FAX : 03-6256-8828 E-mail : josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京広報 担当：森（隆）、浅野
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

<http://www.artscouncil-tokyo.jp/>